

アカゲラ通信



野鳥撮影あれこれ

旭山記念公園で野鳥撮影を続けてきて感じたこと、感じていることをまとめてみました。

◎きっかけはシマエナガ

2016年秋、シマエナガについての問い合わせが急増しました。

旭山で見られる？ いつ見られる？ 行けば見られるの？ 最初は何だろうと思いましたが、2016年11月に刊行された写真集

「シマエナガちゃん」がテレビなどで紹介され人気爆発と知り納得。

それまでは旭山で野鳥撮影していた人はほとんど見かけなかったのですが、その時からシマエナガを撮る人が一気に増えました。またそのおかげで旭山は冬の間も賑わうようになりました。



なお、シマエナガちゃんを世に出した写真家の小原玲さん、旭山記念公園にも時々撮影に来ていきましたが、2021年11月に亡くなられました。



◎シマエナガ以外も撮る

シマエナガだけを狙っていた人も、しだいに他の鳥にもカメラを向けるようになりました。次にブレイクしたのはキクイタダキ。大きな瞳、日本一小さな鳥という話題性と冬によく見られることで人気となり、キクイタダキが来る松の周りは雪が踏み固められるほどでした。

春には「幸せの青い鳥」ルリビタキが人気を呼び、森の家で行った好きな野鳥アンケートでは2位に入るほどでした。

◎カラフル信仰からかわいいへ

最初はカラフルな鳥もしくは花と野鳥など「色彩感」を狙って撮影していた人も、色彩は地味でもかわいい鳥にも目を向けるようになりました。目がくりっと大きいコサメビタキがまさか人気者になるとは！ 尻尾を跳ね上げちょこまか動くミソサザイはかわいいけど、撮影タイミングが難しく挑戦し甲斐があることでも人気に。



◎身近な鳥たちの撮影もまた楽しい

そしてやっぱりシジュウカラ、ハシブトガラ、ゴジュウカラなど身近な野鳥の魅力を再発見し、撮影を楽しむ人も多くなってきました。撮影の練習にもなりますし。

シマエナガを通して多くの人が野鳥の情報に接するようになり、興味が湧いて自分なりに好きな鳥が見えるようになってきたのでしょう。野鳥撮影をもっと楽しみましょう！

レストハウスぽるく通信

こんにちは、レストハウスぽるくです。今年も4月23日(土曜日)にグランドオープンしました！ 初日からたくさんのお客様にご来店いただきました、ありがとうございます。

「今年も待っていたよ」と多くの方から声をかけていただきスタッフ一同大変嬉しく思っています。営業時間はショップ、フードとともに毎日 10:00~17:00 です。

さて、レストハウス「ぽるく」では5月より毎月第4土曜日にバザールを開催します。初回は5月28日(土)10:00~14:00。

バザールでは、自然栽培で育てた季節の野菜や野菜の苗、黒千石等の豆類、きな粉、ジャム、トマトソースなどの加工品を取り揃える予定です。今後は雑貨の販売や農家さんとのコラボも考えています。「こんな商品があったらいいな」といったご意見ご要望がありましたらぜひスタッフにお伝えください。

みなさんと一緒にお店やイベントを作っていくたいと思っています。よろしくお願いします。



旭山野鳥メモ③キビタキ

キビタキ *Narcissus Flycatcher Ficedula narcissina* スズメ目ヒタキ科

日本全国で夏鳥。北海道への渡来は5月上旬。夏鳥の中では遅くに渡来。主な越冬地は東南アジア。10月上旬まで滞在。雄の鮮やかな黄色に黒の縁取りは人気。翼の背側に白い斑がある。雌は全身茶褐色。

鳴き声も音楽的で美しく聞いていて楽しい。途中に「ちょっと来い」や「うれしいな」と聞こえるフレーズもある。地鳴きは「ポコポコ」と聞こえ独特で分かりやすい。そして雄同士けんかをすると「バチバチ」と激しい音がするというように、音に特徴がある鳥である。

ホバリングしながら餌をとるのはヒタキ科共通の特技。



キビタキは過去30年間で増えた野鳥のひとつ(他にアオサギ、オオバン等)。東京湾の埋め立て地に造られた葛西臨海公園の森にも生息するようになるなど、ある程度まとまった森林があれば身近な野鳥。札幌市内の茨戸川緑地公園にも植樹地があるが、いずれ森に育てばキビタキもすむようになるかもしれない。

キビタキが来ると夏鳥の渡来シーズンもそろそろ終わりを迎える。鮮やかな黄色のこの鳥が見られるのは嬉しいが、もう渡来シーズンも終わりかと思うと毎年寂しくなる。だけどやっぱり見られると嬉しい鳥だ。

2022年5月の野鳥トピックス

◎2022年夏鳥渡来日のまとめ(*は旭山では通過のみの種)

キジバト=3/18 イカル=3/23 ヤマシギ=3/29 モズ=3/31

ホオジロ=4/4 ベニマシコ=4/5 * キセキレイ=4/5 トラングミ=4/6

ルリビタキ=4/7 * ウグイス=4/10 アオジ=4/11 ノビタキ=4/13 *

ヤブサメ=4/16 メジロ=4/18 クロツグミ=4/18 アカハラ=4/19

ビンズイ=4/23 * コマドリ=4/24 * センダイムシクイ=4/24

オオルリ=4/25 エゾムシクイ=4/25 * チゴハヤブサ=4/25

ノゴマ=4/29 * コルリ=4/29 キビタキ=5/3 ツツドリ=5/3

コサメビタキ=5/5 ※アオバト、ハリオアマツバメ、オオムシクイは5/10現在未確認



・シマエナガ:抱卵に入り尾羽の先が曲がった個体が見られるようになりました。観察頻度は落ちてきました。

・ヒレンジャク(右写真):例年5月上旬に1~3日見られますが今年は1週間以上滞在していました。

・クマゲラ:園内での観察情報は少ないです ・ヤマゲラ:ときどき近くでの観察撮影機会があります

動植物の名前は分解して覚えよう

春になり、新しく野鳥や植物の名前を覚えようという方も多いことでしょう。

しかし、長い名前になると(時には短くても)覚えにくく、頭の中で「??？」となることもあるのでは。

動植物の名前を覚えるコツは、「名前を分解して意味を考えること」です。

例えば、よく出る長い名前の代表「エゾスジグロシロチョウ」。漢字で「蝦夷筋黑白蝶」、「蝦夷(北海道)の」「筋が」「黒くて」「白い」「蝶」という意味ですが、急に言われると戸惑う人もいるかもしれません。

植物では「ナガボノシロワレモコウ」。漢字で「長穂白吾亦紅」これは「長い」「穂の」「白い」「われもこう」という意味で、そうと分かれば覚えやすくなるのではないか(われもこうは植物のある一群の種の総称)。

名前を分解して考えると楽しくなるし、親しみも湧きやすくなります。

シラネアオイ今年も咲いた

旭山では貴重な
シラネアオイが
今年も咲きました。
そのミニ写真集を。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第101号 2022(令和4)年5月6日発行

(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311 (金・土・日・祝日 10時~16時) FAX 011-200-0351